



「干支コレクション」のうさぎシリーズ



ガラス職人の皆さん



職人による製作風景



跳ね上がる、景気回復の一年に。 上越クリスタル硝子(みなかみ町)

上越クリスタル硝子株式会社は、みなかみ町に本社を置く手作りガラス製品の製造販売会社。同社は、1905(明治38)年に東京で創業。戦後、現在地で生産を再開し、温度計や計量器、体温計は日本で初めて製造したとのこと。1955年頃から優れた技術を工芸硝子に生かし、花器等を手掛けるようになり、その技術は、卓越技能賞受賞・日展入選等を果たすとともに、赤坂迎賓館のシャンデリアや正倉院宝物の復元品等で知られています。

同社では、毎年この時期になると、干支にちなんだガラスの置物を制作、「干支コレクション」として人気を博しています。意外にも年間を通して売れ筋商品だそうです。

敷地内にある、ガラスをテーマにした観光施設「月夜野びーどろパーク」は、ガラス製品の直売店のほか、工場見学や体験工房で、ガラス製品の製法や魅力を伝えています。

2023年は卯年。卯(うさぎ)は、その穏やかな様子から家内安全の象徴とされています。また、ぴょんぴょんと飛び跳ねる様から飛躍・向上を意味し、新しいことに挑戦するには最適な年とも謂われています。皆様にとりまして、景気が上向き、明るい一年になりますように。

CONTENTS

跳ね上がる、景気回復の一年に。	…1	働き方改革の取組報告、商工会ビジネスプラスカードのご案内	…5
新年のご挨拶	…2・3	各種お知らせとご報告	…6
連合会リポート 2022大台南国際旅展、ニッポン全国物産展開催	…4	青年部と女性部活動報告	…7
		広域支援センター通信	…8



❖ 新年御挨拶 ❖

群馬県商工会連合会 会長 石川 修司

明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナ禍の長期化に加え、ウクライナ問題や急激な円安により資源・原材料価格が高騰し、とりわけ地域の中小・小規模事業者は厳しい経営状況を強いられた1年でありました。

こうした中、商工会組織では、地域の最も身近な相談窓口、支援機関として新型コロナや物価高等で影響を受けている事業者に対し、資金繰りや売り上げ回復等の相談指導をはじめ、国や県、地元市町村が創設した様々な給付金や助成金、補助金を活用した支援に、総力を挙げて取り組んでまいりました。

国の補助金では昨年度、持続化補助金で採択件数において4年連続の全国一を達成し、ポストコロナ対策として創設された事業再構築補助金においても全国屈指の採択を受けるなど、商工会の会員数が2年連続で増加に転じることができたのは、商工会がこうした支援に奮闘した証であると考えております。

一方、経営者の高齢化や後継者不足により、会員事業所の「事業承継」が喫緊の課題となっています。県連では、昨年7月に日本政策金融公庫前橋・高崎の両支店と「事業承継支援に関する覚書」を締結したところですが、今年は後継者不在の事業

者に対する「第三者承継」支援の取組に力を入れてまいります。

さて、第3次商工会改革「ぐんま商工会2025」も今年、3年目を迎えます。国の補助金獲得や会員増強等において、その成果も着実に現れてきています。しかし、改革はまだ道半ばです。コロナ禍で加速化するデジタル化やニューノーマルへの対応など、社会経済環境が目まぐるしく変化する中で、中小・小規模事業者もそれに適応しなければならず、商工会の支援や組織のあり方も変わっていかねばなりません。

本年も、県連の広域支援センターを核に個社支援の強化やデジタル化を推進するとともに、業務の効率化や人材育成の強化など組織改革にも積極的に取り組み、会員とともに成長し、地域に貢献できる商工会へ、更なる変革を目指してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

今年が皆様に幸ある1年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。

令和5年 元旦



群馬県知事

山本 一太

明けまして、おめでとうございます。

商工会の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。併せて、新型コロナウイルス感染症への対応にご尽力いただいている全ての皆様に、深く感謝を申し上げます。

前年に引き続き、昨年も「新型コロナの抑え込み」と「経済の回復」に全力を注いだ1年でした。同時に、アフターコロナ時代を見据え、新たな富やイノベーションを生み出す政策にも、果敢に取り組みました。

日本の温泉文化をユネスコの無形文化遺産に登録する運動に関しては、全国有数の温泉王国である群馬県が中核となって、与党の国会議員連盟や、知事の会を発足させました。遺産登録に向けた強力な推進体制を整えることが出来たと考えています。

加えて、群馬県が、他県より一歩進んだ「DXの推進」や「災害レジリエンスの強化」を打ち出し、次々と政策を実行することで、本県の存在感や評価は、大きく高まったと感じています。

4月には、Gメッセ群馬において、初めて誘致に成功した重要な国際会議「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開催される予定です。群馬県が目指す「デジタル技術による地域課題解決」の推進に大きく弾みをつけると共に、群馬の魅力を世

界に向けてアピールする絶好の機会にしたいと考えています。

本年も、群馬県が未来ビジョンとして掲げた「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実感できる自立分散型の社会の実現」を目指し、知事である私が自ら先頭に立ち、邁進していく決意です。

商工会の皆様は、地域の総合経済団体として、小規模事業者をはじめとする商工業の振興・発展や魅力あふれる地域づくりに多大なるご貢献をいただいております。

今後も本県のさらなる活性化にむけて、皆様としっかり連携し、より一層の支援に取り組んでまいりますので、引き続き県政へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和5年 元旦



群馬県議会議長 星名 建市

明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎えるに当たり、群馬県商工会連合会の皆様に、県議会議長を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中で、感染防止対策と社会経済活動の両立を模索する1年となりました。この間、医療・福祉の現場において、強い使命感のもと、業務に従事していただいた皆様をはじめ、感染拡大防止にご協力いただいた全ての県民・事業者の皆様に、心から御礼を申し上げます。

その新型コロナウイルス感染症については、未だ予断を許さない状況が続いているところではありますが、これまでの科学的知見の積み重ね等により、次第にWithコロナの新たな段階への移行が進みつつあり、今後は、社会経済活動の正常化に向けた動きが期待されます。

他方で、地域経済は、約3年に及ぶコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵襲等に端を発した原油価格や物価の高騰、そして急速に進む円安の影響などにより、各方面において深刻な打撃を受けており、その回復に向けての支援が必要です。

県議会といたしましても、1日も早く県民の皆様の平穏な日常生活を取り戻せるよう、引き続きコロナ対策をはじめ、力



強い経済の再生とさらなる飛躍に向け、県執行部並びに関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

さて、いよいよ新しい年「令和5年」が始まります。4月には、本県で先進7カ国首脳会議(G7サミット)デジタル・技術大臣会合の開催が予定されており、本県の魅力を世界にアピールできる絶好の機会となります。現在、進めている日本の温泉文化のユネスコ無形文化遺産への登録についても強力で発信できたらと考えております。

現在、本県は、少子・高齢化による人口減少や、情報化・グローバル化などの社会構造の変化による様々な課題に直面しております。こうした県政の課題に対し、群馬県議会では、個々の議員が、それぞれの地域において、皆様の声をしっかりと受け止め、皆様の未来を照らす光を届けてまいります。

本年が皆様にとりまして健やかで幸多き年となりますよう、心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

令和5年 元旦

全国商工会連合会会長 森 義久

新年明けましておめでとうございます。令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は、長期化するコロナ禍の影響に加え、ウクライナ問題や急激な円安、更にはエネルギー・原材料価格の高騰など、地域の中小企業・小規模事業者にとって厳しい状況が続きました。

新型コロナウイルスの影響はまだ続いておりますが、我が国経済の先行きの見通しが不透明な中、全国の中小企業・小規模事業者の皆様は、不安を抱えながらも、懸命に事業活動の継続に取り組んでおられることと存じます。

こうした中、昨年11月に開催した第62回商工会全国大会では、全国各地から約2,400名の商工会関係の皆様にご参集いただき、岸田内閣総理大臣をはじめ数多くのご来賓のもと、「中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実施」や「地域を支える小規模事業者に対する支援策の大幅拡充」など、六項目について満場一致で決議しました。

この度の決議項目を実現し、この未曾有の危機を乗り越えるためにも、今後も中小企業・小規模事業者の声を国等に届け、商工会組織を挙げて、きめ細やかな伴走型の支援に全力を注いでまいります。

全国の小規模事業者が減少しているなか、昨年度は5,000を超える商工会員が増加しました。一昨年度に引き続き2年



続けての会員増となりました。これも偏に、2年以上続くコロナ禍の中で、商工会の役職員の皆様が一丸となって地域の事業者を支え続けてこられた、その活動に対する大きな期待のあらわれであると感じております。

新たな年も、インボイス制度の導入、デジタル社会や脱炭素化社会への転換、円安によるインバウンド需要への対応、事業承継の加速化など、多くの課題がありますが、インボイス制度に係る支援措置については引き続き注視をしつつ、会員の皆様の実状に応じたきめ細かな支援を実行する体制を構築し、事業を推進していく所存であります。

ポストコロナ時代において、地域に根差した唯一の経済団体として、「会員あつての商工会」であることを改めて認識したうえで、私も全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい1年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

令和5年 元旦

連合会レポート

「2022大台南国際旅展」に出展

本会では、新型コロナウイルスの水際対策の大幅な緩和に伴い、停滞する訪日台湾人観光客受入再開に向けて、11月18日(金)~21日(月)に中華民国台南市で開催された「2022大台南国際旅展」に出展しました。昨年度に続き、コロナ禍での出展となりましたが、県内(渋川市、みなかみ町、片品村)の宿泊施設やスキー場6者が参加し、PR動画の配信と日本国内の各事業所からZoomを通じた観光プロモーションを行いました。各者の上映時間にはブース内に設置された座席は満席となり、ブースの外で立ち見をする来場者も多く見られました。来場者からは、「パンフレットやホームページでは伝わらない魅力を感じることができた」、「久しぶりの海外旅行にまずは群馬県に行きたい」といった声をいただくなど、コロナ禍における効果的な観光プロモーションを実施することができました。



動画配信を見る来場者



群馬県のブース



開会式の様子

「ニッポン全国物産展」の出展支援

令和4年度「ニッポン全国物産展」が11月18日(金)~20日(日)の3日間にわたり池袋サンシャインシティにて開催され、本県からは7事業者が出展しました。

今年度は全国42都道府県から132事業者が出展し、「日本最大級のフードコート」を擁する「ニッポン全国物産展」をテーマに、全国各地のご当地食やソウルフード等の実演販売が行われました。昨今の新型コロナウイルス感染再拡大で来場者数を心配する声もありましたが、期間中は天候にも恵まれ累計5万人を超える大勢の来場者で賑わいました。各出展事業者は実演販売や試食を通じて自社商品のPRを行い、BtoCの販路拡大を図ると共に、コロナ禍における消費者ニーズや需要動向を把握することで、商品ブラッシュアップや新商品開発に役立てる良い機会となりました。

出展事業者	所属商工会
1 ダイニング八風	前橋東部
2 (有)中川漬物	前橋東部
3 パン牧場クローバー	吉岡町
4 野菜酒家なっぺ畑	高崎市群馬
5 (有)富田製麺	甘楽町
6 (有)浅間高原麦酒	嬬恋村
7 (株)ミート工房かわば	川場村



多くの来場者で賑わう会場



パン牧場クローバーの皆さん

働き方改革推進支援助成金事業を活用!

—商工会職員の業務負担軽減による働き方改善に取り組みました—

本会では、業務の統合管理と効率化を目指し、「働き方改革推進支援助成金事業」を活用し、業務効率化による就労環境の改善に取り組みました。

【事業実施の経緯】

本会を含む43拠点で構成される商工会の職員情報管理は、業務・事業の分野別に管理され、個々の情報整合が難しい状況になっていました。また、職員の給与管理に係る業務についても、毎月報告を受けた勤怠情報の代理入力と計算業務の効率化が課題になっていました。こうした課題を解決するため、各商工会とのデータ連携が可能なシステム(職員管理システム・給与システム)を新規導入しました。



導入した職員管理システム

【導入により期待される成果】

システム導入により、職員情報が統合管理されることで事務処理プロセスの簡略化と情報の信頼性向上に繋がりました。併せて給与計算に係る業務プロセスをデータ連携による二重入力の解消と、ヒューマンエラー減少による業務改善の実現も期待されるどころです。



導入した給与システム

こうした固定業務の効率化により、職員の就労環境改善と職員全体で会員事業者の経営支援を充実させることを目指し、今後も商工会の内部改革を進めてまいります。



商工会ビジネスプラスカード

全国商工会連合会 JCB ソリマチ

キャッシュバックで経費削減!

年会費無料※!
(一般カードのみ)
※1年間30万円以上のご利用で
次年度年会費無料

おトクな
入会特典も!

商工会ビジネスプラスカードの入会はこちらから!
https://www.jcb.co.jp/corporate/houjin/shokokai_tk.html



次世代へバトンタッチ! 事業承継セミナー開催のお知らせ

中小企業経営者の高齢化が進む中、「事業承継」は、中小企業の経営者が直面する大きな課題となっています。事業承継を考えるときに、先ずは何から手をつければよいでしょうか? 後継者を誰にするか、いつ承継するかなど検討しなければならない項目は多岐に渡っています。本セミナーでは、何をどのように考え課題を抽出するのか、どのように対策を考えていくのか、事例を交えて詳しく解説します。

[開催日時] 令和5年1月20日(金) 14時~16時

[講師] MMC総合コンサルティング 株式会社 代表取締役 和栗 聖 氏

[内容] ●事業承継の基礎知識
●事業承継のメリット、事例紹介など

[受講方法] オンライン(Zoom)もしくは会場受講(商工連会館)

[定員] オンライン50名 会場受講15名(先着締切・費用無料)

[申込方法] 本会HP(<https://www.gcis.or.jp>)から申込書をダウンロードして、FAXもしくはメールにてお申し込みいただくか、最寄りの商工会までお申し込み下さい。



講師 和栗 聖 氏

群馬県商工会連合会 経営支援課 星野

TEL: 027-231-9779 FAX: 027-234-3378 メールアドレス: seminar-info@gcis.or.jp

第62回 商工会全国大会に参加

第62回商工会全国大会が11月10日(木)、NHKホールで開催され、群馬県からは県内各商工会長をはじめとする99名が参加しました。

式典は、森全国連会長の挨拶に始まり、来賓として参列された岸田総理からは、「政策の効果を全国の隅々まで行き渡らせるには、地域に密着する商工会の協力が不可欠である」と商工会への期待を込めたお言葉がありました。

また、全国連表彰では、群馬県から高崎市群馬商工会、桐生市黒保根商工会、嬭恋村商工会が表彰されました。(表彰内容は以下のとおり)

事業推進優良商工会等表彰(組織統一推進枠部門)

小規模事業者持続化補助金の活用、または各種計画の認定 ————— 高崎市群馬商工会

事業推進優良商工会等表彰(共済部門)

① 全国商工会連合会推薦枠 会員数に対する純増割合10%以上 ——— 桐生市黒保根商工会

② 都道府県商工会連合会推薦枠 ————— 嬭恋村商工会



参列された来賓の方々

登録料・成約手数料無料!!

事業を譲り渡したいとお考えの商工会会員の方へ

事業承継マッチング支援のご案内

本会及び県内商工会では、日本政策金融公庫と連携し事業承継マッチング支援を行っています。事業承継マッチング支援は、後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や新分野進出等を目的に「事業を受けたい」とお考えの方をつなぐ、無料のマッチングサービスです。全国に152の支店がある日本政策金融公庫のネットワークを活用して「お引き受け先」をお探しします。

ご相談、お申し込みは、最寄りの商工会まで。

詳しくは で検索



第22回商工会青年部全国大会(熊本大会)に参加

「第22回商工会青年部全国大会(熊本大会)」が、11月15日(火)、16日(水)に熊本県熊本市「熊本城ホール」にて開催されました。群馬県からは183名の青年部員が参加しました。来年開催予定である「第23回商工会青年部全国大会(群馬大会)」に向けて、主張発表大会や商人ネットワーク等、各種プログラムや会場内の催しなどを群馬県内の青年部員全員で「見て」、「学び」ました。「今回の熊本大会を見て、群馬大会開催へ気が引き締まった」という青年部員の声も聞かれました。次回大会PRでは、斉藤会長が全国大会招致の想いを語り、全国の青年部員に向けて群馬大会の来場を呼び掛けました。最後は会場全体で、大会スローガン「今こそ群馬に群れる!!」と掛け声を出し、群馬大会へ向けて気持ちを高めました。次回「第23回商工会青年部全国大会(群馬大会)」は令和5年11月15日(水)、16日(木)高崎市「Gメッセ群馬」にて開催されます。全国大会開催に向けて皆様のご協力をお願いします!



次回群馬大会の来場を呼び掛ける斉藤会長



引きつがれた全国大会旗

令和4年度群馬県商工会女性部長会議を開催

令和4年度群馬県商工会女性部長会議が11月17日(木)に県商工連会館で開催され、県内商工会女性部長34名が参加しました。

今年度は「今を生きていくために」をテーマに、コロナ禍における取組事例や活用した補助金、商工会からの支援を受けた内容などについて、女性部長の中から3名による事例発表を実施しました。

コーディネーターには、(株)群馬マーケティングセンターの沼澤啓吾氏をお招きし、参加者にとって商工会の魅力や活用法を認識し、情報発信の重要性を知っていただく良い機会となりました。参加された女性部長からも「コロナ禍での努力・工夫した取組を知る事が出来て参考になった」「前向きな姿勢に元気を頂き、頑張ろうと思った」等の声がありました。今後も女性部員のコロナ禍における取組や事業所の補助金などの活用方法を共有することで、積極的な活用につなげ、商工会女性部から地域全体の活性化の原動力になれるよう努めてまいります。



事例発表を熱心に聴く女性部長



コーディネーターの沼澤啓吾氏

中小企業・小規模事業者が抱える多様化・複雑化する経営課題解決のため、広域支援センターでは専門人材を配置し、会員事業者様が抱える課題解決のお手伝いをさせていただいております。今回は嘱託専門指導員による「事業再構築補助金」の支援事例について紹介いたします。

有限会社バリールーツ

高崎市新町商工会 | 菅田 洋之(嘱託専門指導員)

駅前を起点とした地域活性化を目指す飲食店の開店事業

(有)バリールーツは、高崎市新町でヨガ教室を行っている企業です。ヨガ教室は週2回3クラスで50名程の会員が通う教室を運営しています。(コロナ前は70名程度)ヨガの指導については5人の講師を登録し、レッスンを行っています。また、プライベートレッスン・出張レッスン・短期集中コースの「Men'sヨガ」なども行っています。

高崎市新町駅前という好立地に空き店舗と駐車場を保有していることから、かねてより新事業展開を検討していました。周辺には、ラーメン屋、うどん・そば店は多くありますが、女性が気軽に立ち寄れる店舗がなく、カフェ等の開業要望が多く聞かれていました。

そこで、事業再構築補助金を活用して、気軽に美味しいランチタイムを過ごせるカフェの開業を決意しました。人脈を活用して、地元の自衛隊調理師OBやホールスタッフを採用し、令和4年9月8日にカフェ(店名:Barrie Base Café<バリールーツカフェ>)を開業し、現在は女性客やカップルを中心とした客層で賑わっています。カフェで提供している「自衛隊カレー」は新町に駐屯する元陸上自衛隊第12後方支援隊補給班シェフが作る本物で、いわゆる「ミリメシ」として人気メニューです。高崎市新町商工会では、事業計画作成から開業・アフターフォローといった伴走支援を実施することで、課題解決や事業者の良き相談相手として良い関係を築いています。



バリールーツカフェ店舗



プレートメニュー

お食事処うぶかた

しづかわ商工会 | 小澤 徹郎(嘱託専門指導員)

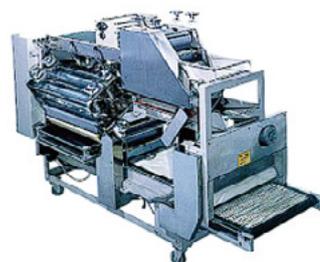
自社開発したこんにゃく粉入りヘルシー麺による製麺卸事業への挑戦

渋川市にあるお食事処うぶかたは、和食を中心に提供している飲食店です。新型コロナウイルスの影響で、ランチタイムの利用者や夜の宴会が減少したため、自社開発し製品化を模索していた「こんにゃく粉入りうどん」の量産、卸を行うことと

なりました。これは、本来の小麦粉の味や風味をそのままに、こんにゃくがもつ低カロリー、高繊維質、低GI値(血糖値の上昇を抑える機能)を活かしたヘルシーな麺です。同社は、手打ち麺を製造する技術、ノウハウはあるものの、他のお店に卸すための大量生産機能を有していませんでした。また、製麺業に進出するには生産用機械の導入と、製造スペースの確保を行う必要がありました。そこで、事業再構築補助金を活用して大手の飲食店や製麺業者でも採用されている製麺機を導入し、店舗近くに製麺工場を設営しました。

しづかわ商工会では、新たな事業実施体制の他、地元自治体との連携方法や集客方法、価格設定といった多面的な課題の洗い出しとそれらの解決策に検討を重ね、実現性の高い事業プランの構築をサポートしました。

今回の事業再構築補助金の活用をきっかけとして、事業の多角化による売上の拡大と安定化を図る事が可能な体制を構築する事ができました。



導入した製麺機